

あり木とう
秀樹

ルヒ水の深夜便

今夜は 昭和五十年の 強と言った

何かしら 知って いるかもしね

ときいて いるか ひとつも知らず

知らずに 曲はわり

この年は 強弱と 言っている

出来るか

その時

座のソール として いる

何となく 周囲で わかっている

お物のせの 車が来て

家賊道具か はに 出されて

私への いじめの 某大威か

何と言わす ひんすろ 居るソール

軍が 出発の ようす

その場で へなく と すわりこみ

母さん 二人で やって 行くころ

息子の 声と ともな 居る

台詞 へ行つた

まろくばげのりや サイバジもろ
今夜は、布団 あり

あり金をもち 息子と自分の 部屋を

かいたすがや 平や、行くは

すくと 息子が におやてくれた

いんらるい 私です子や、と 思うニと けり

命も秀樹が いらくれた

心づかい 月を 送っていら

ありかとうと 何回言うても ありま

秀樹がいて くれようか、と

心かしたじや つかうか、と

と言つていら

ありかとうと 秀樹

2025
2/20